

8

特集 \ 知りたい! /
循環器看護の最新トピックス

循環器疾患患者における睡眠時無呼吸に対する看護支援の最前線



澤渡浩之 (九州大学大学院 医学系学府 保健学専攻)

樗木晶子 (九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 教授)

point

- 循環器疾患患者における睡眠時無呼吸の合併率は、非常に高い!
- 睡眠時無呼吸は、高血圧症・不整脈・心不全の悪化やうつ病などに関連している!
- 早期発見には、看護師の日常の観察が重要!

はじめに

「睡眠時無呼吸」とは、さまざまな原因で睡眠中に呼吸が停止または低呼吸となることによって、間欠的な低酸素血症や覚醒を幾度も繰り返す、睡眠が障害される病態です。睡眠時無呼吸を持つ患者は、高血圧症・不整脈・冠動脈疾患・うつ病などを発症します。循環器疾患患者においては、睡眠時の無呼吸に伴う低酸素や胸腔内圧の変化な

どにより、循環器疾患の悪化をきたします。本章では、睡眠時無呼吸の機序およびその悪影響と看護支援について述べます。

睡眠時無呼吸の基礎知識

睡眠時無呼吸の種類

前述したように睡眠時無呼吸とは、「睡眠中に呼吸が停止または低呼吸となることによって、間欠的な低酸素血症や覚醒を幾度も繰り返す、睡眠が障害される病態」です。この睡眠時無呼吸には、2つのタイプがあります。①閉塞性睡眠時無呼吸と②中枢性睡眠時無呼吸です。

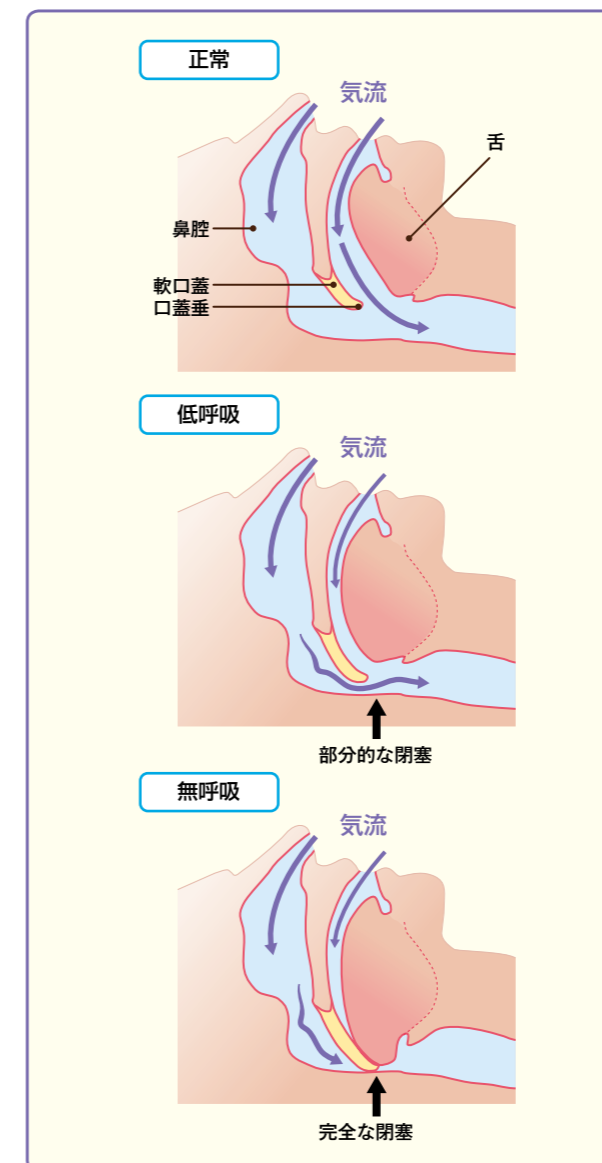


図1 閉塞性睡眠時無呼吸

閉塞性睡眠時無呼吸

閉塞性睡眠時無呼吸は、睡眠中に上気道の完全な閉鎖もしくは部分的閉鎖が起きることで、繰り返し無呼吸や低呼吸をきたす病態です(図1)。この閉塞性睡眠時無呼吸の一般集団の罹患率は、米国の大規模調査によると男性で25%、女性で9%と報告されています¹⁾。閉塞性睡眠時無呼吸の原因としては、肥満による気道周囲の脂肪蓄積による気道の狭窄を始めとして²⁾、小顎・加齢・就寝前のアルコールの摂取などが挙げられます³⁾(図2)。気道が部分的に閉鎖された場合、著明ないびきが発生します。

中枢性睡眠時無呼吸

中枢性睡眠時無呼吸は、中枢神経系による呼吸調節機構が障害されることで無呼吸や低呼吸をきたす病態です。この中枢性睡眠時無呼吸の罹患率は、一般集団では非常に低く2.2%と報告されています⁴⁾。一方、心不全患者においては、その病態から(後述)33%と高率に中枢睡眠時無呼吸を合併しています⁵⁾。

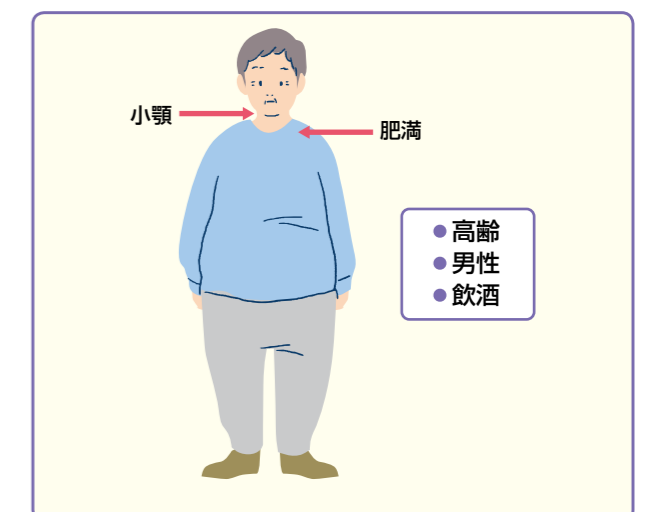


図2 閉塞性睡眠時無呼吸患者の特徴